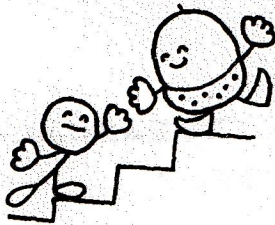


(1)

2014. 6. 3.

公開質問状



平成26年6月15日 投開票予定 松戸市長選挙立候補予定の皆様

「公開質問状」へのご回答へのお願い

おい図書館

代表 青木和子

謹啓

日頃、松戸市政のために、ご尽力下さり、ありがとうございます。

この度の松戸市長選挙に際し、微力ではございますが、私達市民の願いを実現して下さると思われる候補(予定)者を応援させて頂きたいと存じます。つきましては、その判断材料として、公開質問状を作成致しましたので、送付させていただきます。

私達「おい図書館」は、市民の望む、より良い松戸市立図書館を求めて、1993年以来、活動を続けて参りました。

今年度からは、長年待ち望んでおりました「松戸市図書館整備計画審議会」が、いよいよスタートすることので、大変期待しております。

頂いた、ご回答内容は、「おい図書館」会報に掲載するなど、公開させていただきます。

ご多忙中、お手数とは存じますが、ご回答用紙は6月1日(日)までに同封の返信用封筒にてご返送下さいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬白

おい図書館
号外

発行
代表
おい図書館
青木和子
松戸市牧の原1-10-416
TEL 047-311-0886

平成26年6月15日投開票予定 松戸市長選挙
公開質問状

候補(予定)者名

質問1. 松戸市立図書館の現状を どう思いますか？

質問2. この度の選挙に当選した場合、どのような考えを持って図書館政策にあたりますか？
また、図書館について調査・相談できるブレーンはいますか？

ご協力ありがとうございました。

おーい図書館 事務局

ご参考までに「千葉県図書館・2013」(千葉県公共図書館協会)のデータを添付・抜粋します。ご一読の上、上記の質問にお答え下さい。調査対象は県内38市町です。

①市民一人あたり	個人貸出冊数	県平均	5.66冊	松戸市	4.73冊
"	蔵書冊数	"	3.07冊	"	1.17冊
"	図書館費	"	182円	"	127円

②本館・中央館の延べ床面積

千葉市(政令指定都市)	約10,000㎡
市川・市原・浦安・成田	5,000~6,000㎡
君津・白井・野田・船橋・横芝光	松戸(1,900㎡)の1.5~2倍

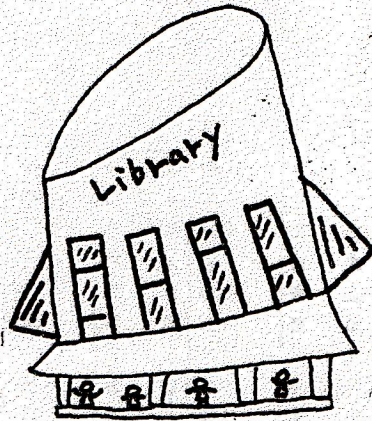
③医療・法律・ビジネス支援など、高度な情報サービスを提供する図書館が増えているが、松戸は行っていない。

13 県内公立図書館サービス指標(平成24年度)

項目	個人貸出率 登録率	人口1人あたり			人口1000人 あたり 年間受入冊数
		個人貸出冊数	蔵書冊数	図書費 (24年度決算)	
県平均 (5,902,620人)	35.2% (2,076,445人)	5.66冊 (33,417,404冊)	3.07冊 (18,100,700冊)	182円 (1,075,942千円)	129.1冊 (761,757冊)
君津	77.0	浦安 13.44	横芝光 14.48	成田 1177	成田 840.3
匝瑳	62.8	横芝光 11.96	袖ヶ浦 10.49	横芝光 699	横芝光 477.5
佐倉 *	59.5	君津 11.46	白井 8.78	袖ヶ浦 518	浦安 321.5
酒々井	58.1	袖ヶ浦 10.75	浦安 7.14	浦安 511	袖ヶ浦 312.8
木更津	53.3	成田 10.22	成田 7.04	浦安 455	浦安 321.5
袖ヶ浦 *	48.8	我孫子 9.92	匝瑳 6.83	山武 318	白井 270.3
松戸	45.0	成田 9.45	印旛 5.90	山武 240	白井 270.3
八街	44.4	佐倉 9.18	山武 4.98	印旛 234	匝瑳 266.4
横芝光 *	43.1	白井 8.61	佐倉 4.97	君津 232	山武 231.6
市原	42.0	匝瑳 7.70	八街 4.23	富里 227	君津 191.8
我孫子	42.0	野田 6.99	市原 3.81	四街道 223	佐倉 174.2
船橋	40.4	習志野 6.45	野田 3.57	野田 193	印旛 174.1
山武	38.8	市川 6.43	富里 3.53	八街 189	野田 167.4
習志野	36.7	流山 6.16	酒々井 3.40	酒々井 189	富里 157.3
白井	36.7	富里 5.71	四街道 3.24	市川 187	四街道 153.1
		市原 5.66	我孫子 3.17	流山 186	我孫子 132.5

項目	個人貸出率 登録率	人口1人あたり			人口1000人 あたり 年間受入冊数
		個人貸出冊数	蔵書冊数	図書費 (24年度決算)	
富里	33.9	八千代 5.46	館山 3.03	南房総 173	八街 128.1
印旛 *	33.9	柏 5.44	南房総 2.87	我孫子 171	酒々井 123.1
流山	32.9	酒々井 5.40	流山 2.73	八千代 170	流山 118.7
野田	32.4	山武 5.37	鎌ヶ谷 2.72	習志野 169	習志野 114.4
市川	32.1	八街 5.02	茂原 2.72	鴨川 150	鴨川 114.2
大多喜 *	31.9	松戸 4.73	木更津 2.52	船橋 132	市川 112.9
鎌ヶ谷	30.7	東金 4.63	八千代 2.47	鎌ヶ谷 129	八千代 106.9
千葉	29.4	千葉 4.16	鴨川 2.38	松戸 127	東庄 105.0
四街道	29.1	四街道 4.16	船橋 2.33	東金 124	南房総 103.3
浦安 *	28.9	船橋 4.14	東金 2.32	柏 123	木更津 101.2
東金	28.4	鎌ヶ谷 3.88	千葉 2.29	館山 117	鎌ヶ谷 100.2
銚子	27.4	茂原 3.60	市川 2.27	市原 108	茂原 97.8
香取	27.4	鴨川 3.13	柏 2.26	銚子 106	勝浦 95.1
成田 *	26.4	木更津 3.03	習志野 2.23	旭 103	松戸 91.8
旭	25.5	館山 2.68	勝浦 2.11	木更津 100	柏 85.8
茂原	24.5	南房総 2.17	銚子 2.03	勝浦 90	東金 85.1
八千代	24.2	大多喜 2.07	香取 1.77	東庄 82	市原 85.0
鴨川	22.8	香取 2.00	旭 1.45	香取 79	船橋 79.6
柏	22.5	銚子 1.75	東庄 1.29	茂原 74	大多喜 79.6
勝浦	20.9	旭 1.69	松戸 1.17	千葉 66	館山 79.2
東庄	17.9	勝浦 1.30		大多喜 49	銚子 68.1
南房総 *	17.2	東庄 1.07			香取 65.6
館山	16.1				旭 65.2
					千葉 61.9

(注) 1 複数館ある市町村は、一つにまとめた
 2 人口の数値は、千葉県毎月常住人口調査月報より(平成25年4月1日現在)
 3 県平均欄の()内の数値は、38市町村の合計である
 4 図書費には、臨時的経費のうち図書費を含む
 5 個人貸出登録率は累計で自治体内数か自治体外数を含めるかは自治体による (*印は、自治体内数)
 6 個人貸出冊数には、近隣自治体住民に対する貸出冊数が含まれる自治体がある



立候補予定者の皆様には、
資料 および 質問用紙を
お渡しし、回答を頂きました。
次に ご紹介します。

立候補予定者の皆様、
お忙しい中をご協力下さり、
ありがとうございます。

● 杉浦 誠一様

質問 1.

参考資料にもありますとおり、市民一人当たりの貸出冊数、図書館の延べ床面積、蔵書冊数、図書費予算等いずれも県の平均より劣っている現状の中、本市の中央図書館は老朽化が進み、ハード・ソフト面での再検討の時期にあるなか図書館整備計画審議会がスタートしております。

本市は特に松戸駅周辺には様々な公共施設が点在し、それぞれ老朽化が進むとともに、耐震化や大規模な改修工事も必要な状況にあります。松戸市全体を俯瞰してみても多くの公共施設が同じような現状にあり、これら公共施設の再編を視点に再整備の基本方針を決定していく過程の中で、図書館の今後の役割も含め全体的なバランスを考慮して考えていく必要があると認識しています。その際、県立の西部図書館との関連も含めて考えてく必要があります。

質問 2.

インターネット全盛の時代になり、活字を読む機会が極端に減っている昨今の状況は、個人的にも特にこれからの子ども達への影響を考えると大変危惧するところです。

その一方で、その ICT 技術の進歩はユビキタス社会と言われるように、知の共有の手法を広げ、流通網の充実で自宅に居ながらにして本や情報を共有できる時代となりました。

文字文化の向上は子どもたちの教育にも大きな影響を与えると確信いたしますが、図書館の新設や充実にはそれなりの予算化が必要で、本市の図書館の現状はご案内の通り多分に脆弱であることは認めざるを得ない中、図書館整備計画審議会がスタートされました。

より大きな視点として、図書館行政を考えるにあたっては公共施設再編と人口減少社会への対応という二つの方向性を踏まえるべきであると考えます。政府は50年後に人口1億人を維持する目標を掲げましたが、一億人維持は二〇三〇年までに出生率を今の1.41から2程度へ回復することを前提としており基本的な考え方としては人口は減少するのですから今後の公共施設は全体的な見直しのなか整理統合されてゆきます。

(5)

第29次～30次地方制度調査会の答申や近年の地方自治法の改正にもあらわれているとおり、全ての自治体が同じような施設をそれぞれ持つという時代から、周辺自治体と施設や行政機能を共有し過剰な資産を持たなくする時代へと移り変わりつつあるということも考慮にいれる必要があります。

松戸市も周辺市と合併の議論が盛り上がった時期もありましたが、合併するしないに関わらず将来の人口動態を見据えた中で、図書館、ゴミ処理施設や文化ホールなどの規模の検討と同時に、共有できる物がないか地域全体を見据えた検討をする必要があると考えます。電子ブックやインターネットサービスなど ICT 技術の発展や、自宅で図書・映像媒体の受け渡しができる運送網の発展により、図書情報の共有は容易になってきおります。

それらを活用する中で、きめ細やかなサービスの充実や移動図書館などの機能を民間や市民と共同で運営する等の方策をはかってゆく視点も必要と考えます。

いずれにせよ公共施設の再編成に合わせて市民・議会と意見を充分に交わしながら他の施設とともにその方向性を示したいと思えます。

● 本郷谷 けんじ様

質問 1

回答) 私、本郷谷は『文化の香りがする街づくり』を標榜しており、『図書館』の充実をその中核にしています。

戦後教育は全ての人に等しく教育を受けさせる全人教育を目指してきましたが、環境変化や社会ニーズにより現在は特色ある教育が叫ばれてきています。

図書館についても等しく近くで図書が読めるというところから、松戸市も支所単位で図書館が設置されてきました。しかしながら、現在においては特色ある図書館や図書のニーズが高まってきており、対応できていないのが現状です。

質問 2 回答)

特色ある図書館ニーズに対応すべく下記のような構想を持っています。

1) 松戸駅東口のイトーヨーカ堂裏に、文化の象徴である図書館の本館を新設し、この一帯を文化ゾーンとしたいと考えています。

2) 支所単位に存在する図書館については、学校の図書館と機能の再整理を行い、再編したいと思っています。

又、読書空間の快適性についても検討します。

3) 1) 2) における全図書を一元ネット管理し、読者に読みたい本の有無や入庫や存在する図書位置等の情報提供を行っていく構想を持っています。

ブレーンについては、松戸市在住の常世田先生を考えています。

● 川井敏久様

1) 答

現状で満足しているわけではない。しかしながら財政面を考えればこれまでの運営は満足すべきものではありませんが、最低限の維持に努めていると認識します。

2) 答

ご存じの通り、公共施設の老朽化が進んでいることから、この機に併設型の図書館の増設や、施設の再発掘を行い、図書館を増します。また新設も検討しています。(たとえば戸城邸下の駐車場の一部を図書館用地として活用する等) 他方で佐賀県【ツタヤ図書館】なども検討し、民間と提携した取り組みの可能性の模索もするべきと考える。カフェ併設型の図書館なども踏まえた新しい空間の中で、インテリジェンスの学びにつながるよう検討したい。ブレーンに関しては、行政・議会だけではなく、指針を打ち出すため、パブコメ等の市民の声を交えて研究していく予定です。

● 伊藤余一郎様

質問 1. 松戸市立図書館の現状について

松戸市の図書館は、千葉県内の公立図書館サービス指数の一人あたりの蔵書数は依然として県平均を下回っており、貸し出し冊数も低く水準できています。また、それにともって、と図書館費など、「最低クラス」という状況にあることはご指摘の通りです。

蔵書数では、県内で最下位であり、48万人都市として、放りしておくわけにはいきません。

松戸市の意識調査にも図書館の充実の声が寄せられています。それらに応えられるよ取り組んでいきます。

2. 図書館政策について

松戸市の中央図書館は、各市民センターに分館が併設の図書館との連携があるものの、サービス提供の面で、今日的な社会状況のニーズには不十分なのが現状です。

私は、市長になって現在の図書館行政を見直します。ブレーンはおりますが、まず、皆さま方のご意見をよく伺い、松戸市の図書館はどうあるべきなのか、市民の皆さんと一緒に施策を練り上げていきます。